

報道関係各位

2023年2月28日  
SAS Institute Japan株式会社

## SAS、サプライチェーンが変化し続ける中 企業が安定した需給バランスを見出すことをサポート

SAS<sup>®</sup> Intelligent Planning Cloud、迅速な展開で  
小売事業者、消費財メーカーが求める成果を短期間で創出

アナリティクスのリーディング・カンパニーである米国SAS Institute Inc.（以下 SAS）は、小売事業者や消費財メーカーからの的確な需要計画を求める声がかつて以上に高まっていることを受け、革新的なAIを搭載したSAS<sup>®</sup> Intelligent Planning Cloudの活用により、企業が購入者のニーズや配送の混乱をより正確に予測し、効果的な対応を可能にします。このSaaSソリューションは、SAS Cloud powered by Microsoft Azureで、利用可能です。

### SASは、消費者の嗜好の変化や配送の混乱に対応し、企業をサポート

Retail Systems Researchのマネージング・パートナーであるブライアン・キルコース（Brian Kilcourse）氏は、次のように述べています。「成功している小売事業者や消費財メーカーは、業務や市場の変化にほぼリアルタイムに対応し、将来のシナリオをモデル化してビジネスの機敏性を高める必要があります。SASのテクノロジーをMicrosoft Azureと統合させたのは、より迅速に、包括的なアナリティクスを提供するためです。それにより、企業は市場投入までの時間を短縮し、成果の創出を早めることができます。SAS on Azureは、最新の自動化モデル構築とその管理を進め、業務効率の向上に貢献します」

SASの小売および消費財担当グローバル・ディレクターであるダン・ミッチェル（Dan Mitchell）氏は、次のように述べています。「SAS Intelligent Planning Cloudは完全に自動化されています。ユーザーは、複雑なクラウドの運用にストレスを感じることなく、ビジネスの課題解決に明確に対応することができます。本製品に代表されるような高度なAIや機械学習アプリケーションを活用し、資産、システム、位置に関する情報とテクノロジーデータをリアルタイムに活用することが当たり前のこととなるはず。このアプローチをしない場合、売上、顧客、市場シェアを失うかもしれません」

Microsoftの小売および消費財担当ビジネス戦略リーダーであるフェリス・ミラー（Felice Miller）氏は、次のように述べています。「消費者需要の不規則な動向は、サプライチェーンの問題を悪化させます。商品が、まだ港で船に揺られている間に、選択肢を確認し、情報に基づいて方向転換を行う必要があります。SASとMicrosoftがサプライチェーンに重点を置いたソリューションの豊富なポートフォリオをリアルタイムのデータチャネルの上に構築しているのは、そのためです。これを活用した企業は混乱を感知、予測、適応する能力を強化できるでしょう。SASは、小売業向けMicrosoft for Cloudのパートナーとして、企業が混乱から素早く立ち上がり、前進することをサポートします」

### サプライチェーンの混乱に立ち向かう企業を支援するSAS



SASは、Microsoft Azureの戦略パートナーであり、[project44](#)のようなエコシステム・パートナーや[Cosmo Tech](#)、C.H. Robinsonなどのグローバル・サプライチェーンで重要な役割を担う企業とサプライチェーンの専門性に関する密接なネットワークを構築しています。

今なら、SAS Intelligent Planning Cloud on Microsoft Azureを[14日間の無料でお試しいただけます](#)。

\*2023年1月16日に米国SAS Institute Inc.より発表された[プレスリリース](#)の抄訳です。

本原稿はSAS本社プレスリリースの原稿を抄訳したものです。本記事の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語を優先します。

## SASについて

SASは、アナリティクスのリーディング・カンパニーです。SASは、革新的なソフトウェアとサービスを通じて、世界中の顧客に対し、データをインテリジェンスに変換するためのパワーとインスピレーションを届けています。SASは「The Power to Know<sup>®</sup>（知る力）」をお届けします。

\*SASとその他の製品は米国とその他の国における米国SAS Institute Inc.の商標または登録商標です。その他の会社名ならびに製品名は、各社の商標または登録商標です。

## 本件に関するお問い合わせ先

**SAS Institute Japan株式会社**

広報担当：[jpnpress@sas.com](mailto:jpnpress@sas.com)

SAS PR事務局（PRAP Japan）

[sas\\_pr@prap.co.jp](mailto:sas_pr@prap.co.jp)